

龍西だより



令和5年度 学校だより
第3号
令和5年4月26日
熊本市立龍田西小学校
校長 堀下 欣也

校章と校歌について

学校には必ず「校章」や「校歌」があります。校章とは、その学校を象徴するためにデザインされた紋章のこと、校歌とは、その学校の理想、特長、精神などを盛り込んで作詞・作曲され、児童や生徒に歌わせる歌のことです。

これまで始業式や入学式で子どもたちが歌う校歌、今月の歌で毎朝流れる校歌を聞きながら、「？」と思った歌詞がありました。2番に出てくる「三光鳥」や「八重くちなし」です。そこで今回の記事は、本校の校章や校歌について調べたことを書いてみます。ベテランの保護者の方々はすでにご存じのことと思いますが、ご了承ください。

裏面に校歌を掲載しています。また、学校HPにも校章と校歌について詳しく掲載してあります。

【校章の意味について】

- 緑豊かな本校において、子どもたちの健やかな成長を願って作成
- 校章の中心に本校を表す「龍西」を配置
- 「龍の角」をイメージし、左右に羽のデザインを配置
- 立田山に自生する天然記念物の「八重くちなし」をデザイン



【校歌の意味について】

1番のテーマ『成長・友情』

- ・ 思いや夢を言葉にして、友達に話してみよう。苦しいときこそしっかり自分の根っこを伸ばし、思いをかなえよう。花を咲かせよう。そこにはいつも友達がいるだろう。

2番のテーマ『自然・生命』

- ・ 学校の裏山の立田山には、夏になると三光鳥が渡ってきて、楽しい歌を聞かせてくれる。また、天然記念物の八重くちなしは、毎年清らかな白い花を咲かせている。私たちが自然とのつながりを大切に、今日という日を精一杯生きていこう。

3番のテーマ『平和』

- ・ 同じ空の下で、世界の人々はどのように暮らしているのだろう。この校区では、たくさんの遺跡が発掘されている。私たちは、戦争をすることなく暮らしていた縄文の精神を受け継いでいこう。世界と歴史を学び、平和な未来を自分たちの手で助け合って作っていこう。龍田西小学校で、その基礎を学ぼう。

【「三光鳥」と「八重くちなし」について】

○三光鳥

オス 45cm、メス 15cm。夏鳥として5月ごろ九州に渡来し、山の薄暗い林で繁殖する。さえずりが「ツキ（月）ヒ（日）ホシ（星）ホイホイホイ」と聞こえることから、三つの光、三光鳥の名がついた。オスは、30cmもの長い尾をひらひらさせて飛ぶ。秋になると南へ移動する。

○八重くちなし

くちなしは、梅雨どきに大型で純白の花を咲かせる。八重くちなしは、花卉が八重咲きなのでそう呼ばれる。花が強い香りを漂わせることも特徴である。

「立田山ヤエクチナシ自生地」が天然記念物に指定されたが、環境の変化と乱採のため、自生地ではほとんど見かけることができなくなった。

※来週の歓迎遠足で、三光鳥や八重くちなしを探してみようと思います。